

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

令和2年11月19日 VOL. 143

“医療・介護・福祉フォーラム2020”

住み慣れた地域で最期まで自分らしく



令和2年10月25日（土）藤枝市生涯学習センターを会場に「第9回医療・介護・福祉フォーラム2020」【主催：藤枝市 志太医師会（会長：錦野光浩氏）後援：静岡県中部健康福祉センター】を開催しました。

今回は「**住み慣れた地域で、最後まで自分らしく暮らすために**」をテーマに**東京の新宿区**を拠点に活動している白十字訪問看護ステーション統括所長、認定NPO法人マギーズ東京共同代表理事・センター長 **秋山正子先生**をお招きし、暮らしの中で療養する人、家族を支えるケアの実践から地域と協働した取り組みへの展開について講演をいただきました。

秋山先生自身の体験や、今まで看護の場面で出会った多くの人との関わった事例を交え、その人と家族、介護者への支援やその人を支える医療・介護・福祉チームと連携、行政との関わりへの発展、そして、御近所さんを含めた地域との協働へ広がっていく内容でした。参加者は、先生の語りにどんどん引き込まれ、新宿区の「地域包括ケア」の様子を体感することができました。



参加者の感想から

今回は、新しい生活様式に対応し、県中部健康福祉センターの後援により、Web配信によるライブ中継を実施しました。会場参加者は市民や医療・介護の専門職など94人、Webの視聴者は290回と多くの方の参加がありました。

参加者の感想として、「もっと若い人（中高生にも）にも参加して欲しかった。**若い時からの教育も必要**」「都会なのに住民が協力しているのがすごいと思いました。自分の市町村にも無料で**気軽に相談できる場が欲しい**です」「在宅での生活が本人にとってとても大切だと思いました。病院ではなく自宅で看取りが大変でも行なうことができる。医療と介護の連携が大事だと感じました」「**自宅での看取りの良さ**がもっと広がり、一般的になることを期待したい」「**住み慣れた場所で、最期を迎える**ということは、本人も家族も安心すると思いました」「近いうちに自分にも来ることです。要介護になる前に、まず**家族に自分の意思をはっきり伝えておく**ことの大切さを改めて強く感じた」「高齢化時代、自分の生き方を考えて暮らしていく中、何回も情報に向き合い、その中で少しずつ、**自分らしく自分に合った生活を見つけ**て老いていくゆるやかな時が大切だと思いました。」「マギーズ東京の活動を初めて知った。すばらしいと思った。話を聞いてよかった」など、多くの感想が聞かれました。

参加者の皆さんが、住み慣れた地域で安心して生活を送るために必要な『自分ができること』『地域でできること』を考える機会に繋がりました。

本市では、志太医師会在宅医療サポートセンター（センター長：杉浦正司氏）と協働し、今後も市民とともに「平穏な最期」や「より良く生きるために」などについて語り、市民と共に学び合う機会を継続していきます。

バックNo.の検索は

